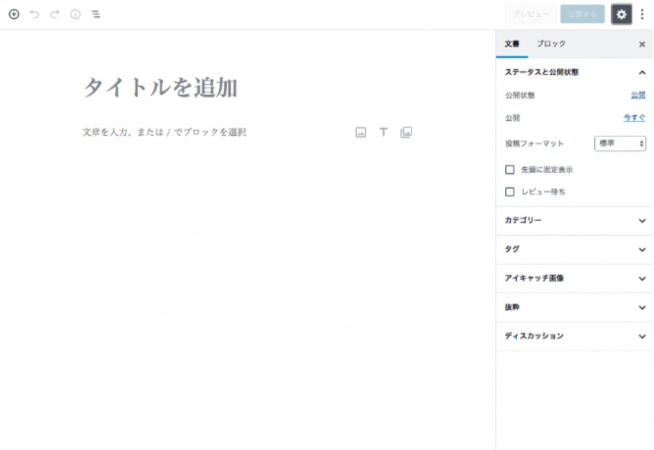
Gutenbergの使い方

それでは、Gutenbergを実際に使っていきましょう。

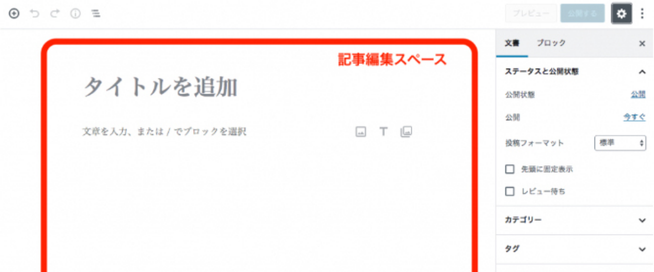
Gutenberg編集画面と各メニューの説明

Gutenbergの編集画面は下図のようになっています。


プレビュー
公開する
文書
ブロック
タイトルを追加
文章を入力、または / でブロックを選択
ステータスと公開状態
公開状態
公開
公開
今すぐ
投稿フォーマット
標準
先頭に固定表示
レビュー待ち
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋
ディスカッション

編集画面

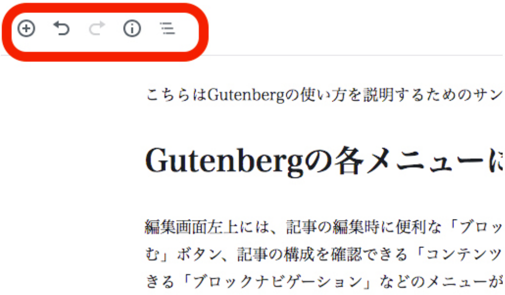
画面中央のスペースが記事を作成するための編集画面です。
旧ビジュアルエディターのように、コンテンツの配置や見え方を確認しながら編集することが出来ます。新規記事の編集を始める場合、タイトルボックスと段落ボックスが一つ挿入されています。


プレビュー
公開する
記事編集スペース
文書
ブロック
タイトルを追加
文章を入力、または / でブロックを選択
ステータスと公開状態
公開状態
公開
公開
今すぐ
投稿フォーマット
標準
先頭に固定表示
レビュー待ち
カテゴリー
タグ

アイキャッチ画像
抜粋
ディスカッション

左上メニュー

編集画面左上には、記事の編集時に便利な「ブロックの追加」や「戻る」「進む」ボタン、記事の構成を確認できる「コンテンツ構造」、各ブロックに移動できる「ブロックナビゲーション」などのメニューがあります。



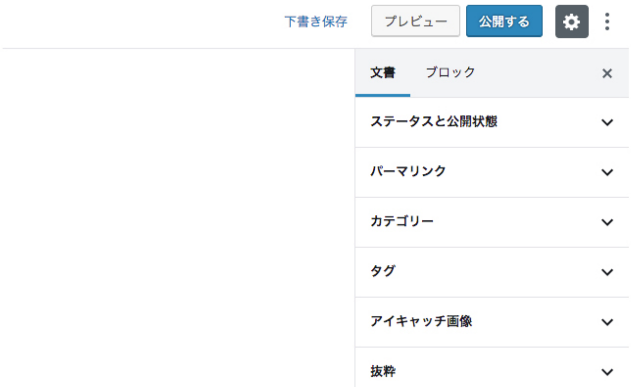
こちらはGutenbergの使い方を説明するためのサン

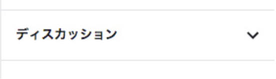
Gutenbergの各メニューに

編集画面左上には、記事の編集時に便利な「ブロッ
む」ボタン、記事の構成を確認できる「コンテンツ
きる「ブロックナビゲーション」などのメニューが

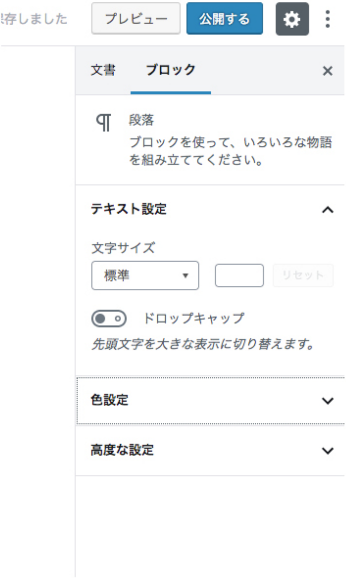
右側サイドバーメニュー

編集画面の右側サイドバーには、作成している文書全般についてのメニューが表示されます。「カテゴリー」や「タグ」、「アイキャッチ画像」など、記事全体の設定を行います。


下書き保存
プレビュー
公開する
文書
ブロック
×
ステータスと公開状態
パーマリンク
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋



また、特定のブロックを選択している状態では、そのブロックに関する設定メニューが表示されます。記事全体のメニューに戻したい場合は、文書のタブをクリックするか、ブロック以外の場所をクリックします。


存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
段落
テキスト設定
文字サイズ
リセット
ドロップキャップ
色設定
高度な設定

ブロックを使って、いろいろな物語を組み立ててください。

文字サイズ：標準

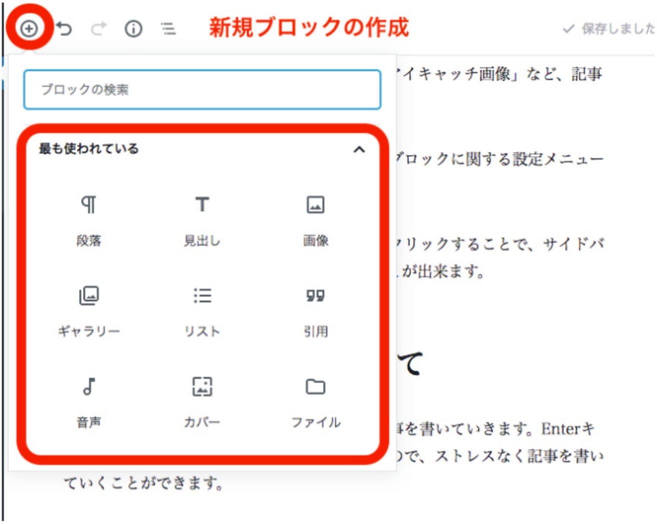
先頭文字を大きな表示に切り替えます。

Gutenbergの基本操作

Gutenbergの基本的な使い方をご紹介します。
Gutenbergは、各要素をブロックという一つのまとまりにして扱います。

ブロックを追加して編集する

まず、左上の「+」のボタンをクリックしてみましょう。
下図のように、追加するブロックの選択画面が表示されます。


新規ブロックの作成
保存しました
ブロックの検索
最も使われている
段落
見出し
画像
ギャラリー
リスト
引用
音声
カバー
ファイル

アイキャッチ画像」など、記事

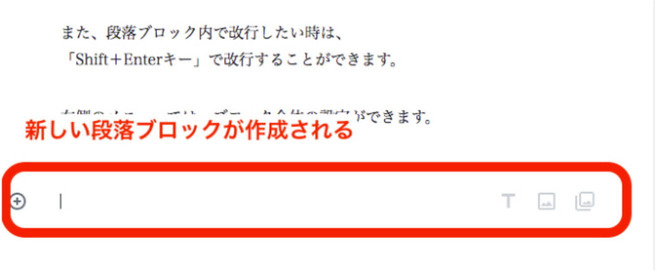
ブロックに関する設定メニュー

クリックすることで、サイドバ
が出来ます。

て

事を書いていきます。Enterキ
ので、ストレスなく記事を書い
ていくことができます。

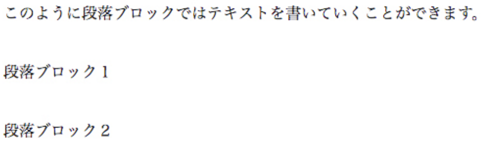
まずは、普通のテキストを書くために、「段落ブロック」を選択してみましょう。
すると、記事の一番下に段落ブロックが追加されます。（特定のブロックを選択中は、そのブロックの直下に追加されます）


新しい段落ブロックが作成される

また、段落ブロック内で改行したい時は、
「Shift＋Enterキー」で改行することができます。

ができます。

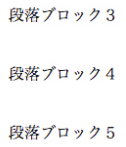
段落ブロックの詳細や各ブロックの詳細は後述するので、同じ手順でいくつか段落ブロックを追加してみましょう。



このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック１

段落ブロック２



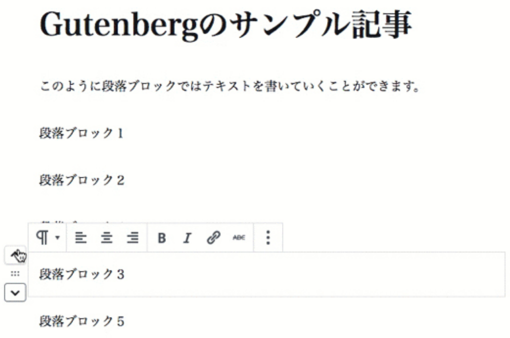
段落ブロック３

段落ブロック４

段落ブロック５

ブロックの位置を入れ替える

ブロックを選択すると、左側に３つのボタンが表示されます。このボタンでブロック同士の位置を簡単に入れ替えることができます。
上向きの矢印で一つ上に、下向きの矢印で一つ下に、真ん中の６つの点が並んだマークをクリックしながらドラックアンドドロップで好きな箇所にブロックを移動させることができます。



Gutenbergのサンプル記事

このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック１

段落ブロック２

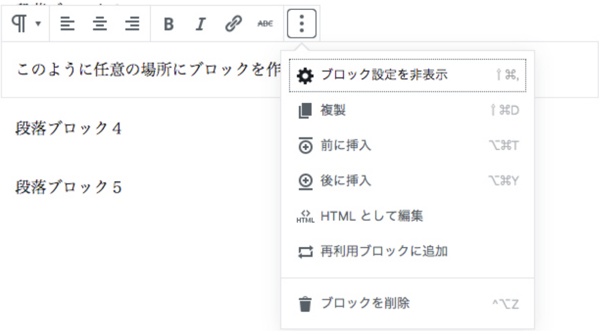
段落ブロック３

段落ブロック５

任意の場所に新規ブロックを挿入・ブロックの複製

いずれかのブロックを選択中に、ブロックの上部のツールの右端のボタンから以下の操作が可能です。
また、（）内のショートカットキーでも同様の操作が可能です。

- 選択中のブロックの複製（Shift + Command + D）
- 前に新規ブロックを挿入（Command + Option + T）
- 後ろに新規ブロックを挿入（Command + Option + Y）

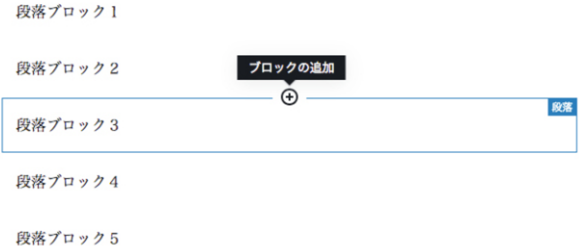

ブロック設定を非表示 ⇧⌘,
複製 ⇧⌘D
前に挿入 ⌥⌘T
後に挿入 ⌥⌘Y
HTML として編集
再利用ブロックに追加
ブロックを削除 ^⌥Z

このように任意の場所にブロックを作

段落ブロック４

段落ブロック５

また、ブロックにカーソルを合わせると、ブロックの中央上部に「＋」ボタンが表示されます。
これをクリックすることでも、そのブロック上部に任意のブロックを挿入することができます。



段落ブロック１

段落ブロック２

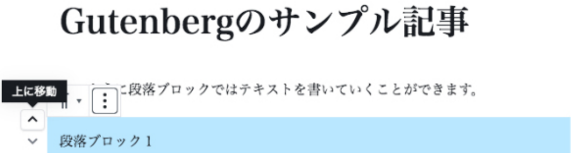
段落ブロック３

段落ブロック４

段落ブロック５

複数ブロックをまとめて操作・削除

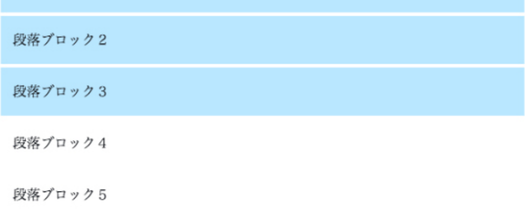
構成を変えたい時など、複数のブロックに渡って操作・削除したい時があるかと思います。
そんな時は、テキストを選択する要領で複数のブロックを選択すると、選択中のブロックをまとめて操作したり削除することができます。



Gutenbergのサンプル記事

このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック１



段落ブロック2

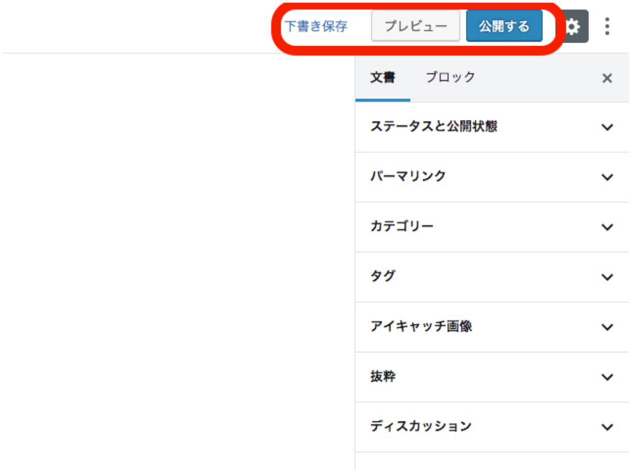
段落ブロック3

段落ブロック4

段落ブロック5

記事の「プレビュー」「下書き保存」「公開」「更新」

記事の公開に関連する操作は、右上のメニューで行うことができます。


下書き保存
プレビュー
公開する
文書
ブロック
ステータスと公開状態
パーマリンク
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋
ディスカッション

各ボタンの動作については、下記になります。

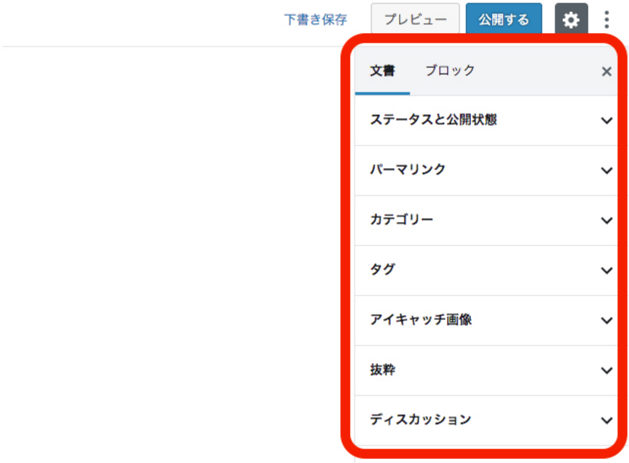
プレビュー	現在の記事の表示をブラウザ上で確認します
下書き保存	作成中の記事を公開せずに下書き保存します。 （保存しました、と表示されていれば自動保存済み）
公開	記事をWeb上に公開します
更新	一度、公開中の記事への変更を更新します。 （記事を公開すると、公開ボタンが更新ボタンになります。）

基本的な操作はこれだけです。
とても直感的で簡単ですよね！

次は文書全体の設定方法を確認しましょう。

WordPress文書全体に関するメニューの使い方

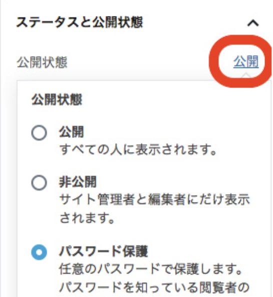
作成中の文書全体に関する設定は、右側サイドバーの文書タブ内のメニューから変更できます。


下書き保存
プレビュー
公開する
文書
ブロック
ステータスと公開状態
パーマリンク
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋
ディスカッション

ステータスと公開状態

公開状態

文書のWordPress管理画面上での公開状態を操作します。
WordPressの管理者が自分一人の場合は特に触る必要はありませんが、企業などで外部ライターに投稿してもらうなどに使用すると良いでしょう。

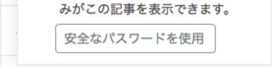

ステータスと公開状態
公開状態
公開

公開状態

○ **公開**
すべての人に表示されます。

○ **非公開**
サイト管理者と編集者にだけ表示されます。

● **パスワード保護**
任意のパスワードで保護します。
パスワードを知っている閲覧者の

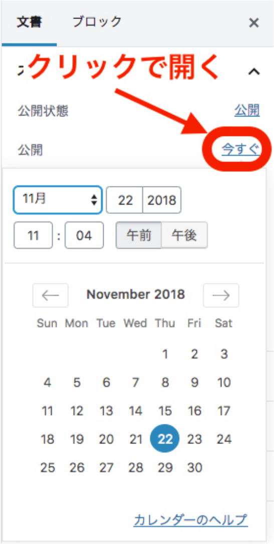


みがこの記事を表示できます。

安全なパスワードを使用

公開

文書を公開する際の、公開予約を設定できます。



文書
ブロック
×
クリックで開く

公開状態 公開

公開 今すぐ

11月 22 2018

11 : 04 午前 午後

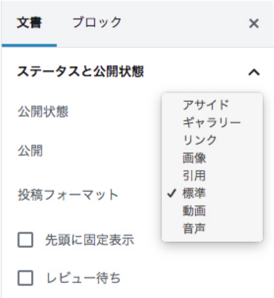
November 2018

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

カレンダーのヘルプ

投稿フォーマット

投稿フォーマットを選択することが出来ます。
中〜上級者向けの機能なので、初心者は無視しても問題ありません。



文書
ブロック
×
ステータスと公開状態
アサイド
ギャラリー
リンク
画像
引用
✓ 標準
動画
音声

公開状態

公開

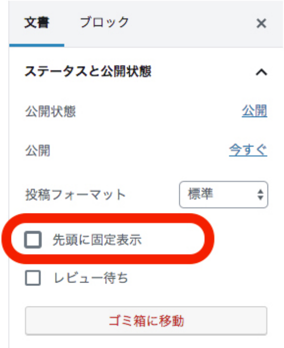
投稿フォーマット 標準

☐ 先頭に固定表示

☐ レビュー待ち

先頭に固定表示

WordPressの記事は基本的に投稿日時が新しい順に先頭から表示されます。
ただ、こちらにチェックを入れることで特定の記事を先頭に表示させることが出来ます。

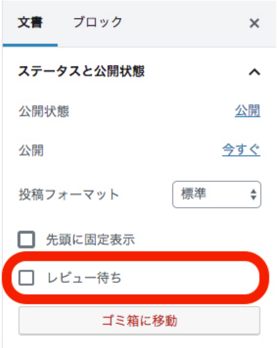

文書
ブロック
×
ステータスと公開状態

公開状態 公開
公開 今すぐ
投稿フォーマット 標準
☐ 先頭に固定表示
☐ レビュー待ち

ゴミ箱に移動

レビュー待ち

寄稿者権限のユーザーが主に使用します。記事作成が完了し、サイト責任者からの公開前チェックを待っている状態です。

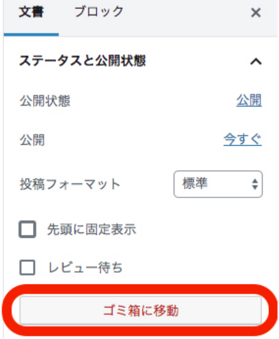

文書
ブロック
×
ステータスと公開状態

公開状態 公開
公開 今すぐ
投稿フォーマット 標準
☐ 先頭に固定表示
☐ レビュー待ち

ゴミ箱に移動

ゴミ箱に移動

編集中の記事をゴミ箱に移動します。



文書
ブロック
×
ステータスと公開状態
ゴミ箱に移動

公開状態　公開

公開　今すぐ

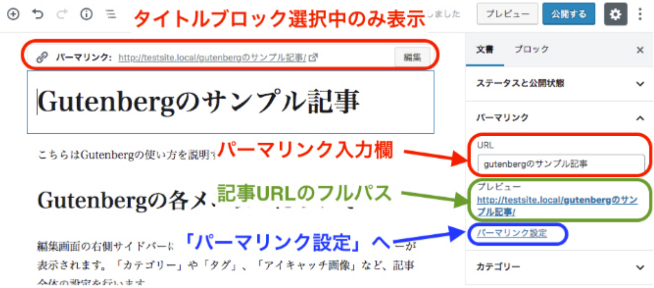
投稿フォーマット　標準

☐ 先頭に固定表示

☐ レビュー待ち

パーマリンク

記事のパーマリンクを設定します。
URLの入力欄に自由にパーマリンクを記述します。プレビューには、実際のWeb上で表示されるURLが表示されます。また、タイトルブロックを選択中のみ、上部にパーマリンク入力欄が表示されます。
「パーマリンク設定」をクリックすると、管理画面のメニューの「設定」→「パーマリンク設定」の画面に移動します。



タイトルブロック選択中のみ表示
プレビュー
公開する
編集
文書
ブロック
×
ステータスと公開状態
パーマリンク
パーマリンク入力欄
記事URLのフルパス
「パーマリンク設定」へ
パーマリンク設定
カテゴリー

パーマリンク: http://testsite.local/gutenbergのサンプル記事/

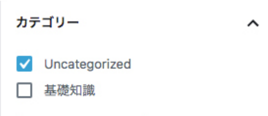
Gutenbergのサンプル記事

URL: gutenbergのサンプル記事

プレビュー: http://testsite.local/gutenbergのサンプル記事/

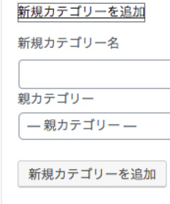
カテゴリー

編集中の記事が所属するカテゴリーを設定します。
「新規カテゴリーを追加」から、記事編集画面からもカテゴリーを新規に追加することが出来ます。



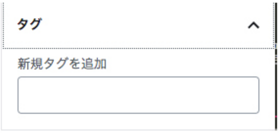
☑ Uncategorized

☐ 基礎知識


新規カテゴリーを追加
新規カテゴリー名
親カテゴリー
— 親カテゴリー —
新規カテゴリーを追加

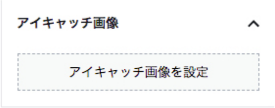
タグ

編集中の記事にタグを設定します。
タグを設定することで、共通のキーワードに関連する記事を探しやすくなります。



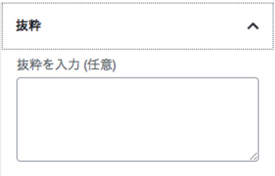
アイキャッチ画像

記事一覧などで表示するアイキャッチ画像を設定します。
メディアライブラリから選択するか、新しい画像ファイルをアップロードします。


アイキャッチ画像
アイキャッチ画像を設定

抜粋

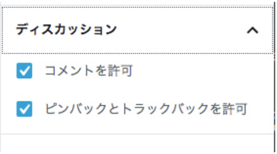
記事一覧ページなどで、記事タイトルと一緒に表示される記事の抜粋を設定します。
（デフォルトでは、メタディスクリプションとしての機能はありません。メタディスクリプションを設定したい場合は、All In One SEOなどのプラグインを使用しましょう）



手動抜粋の詳細

ディスカッション

個別記事ごとのコメントやピンバック、トラックバックの許可に関する設定を行います。
サイト全体の設定を変更したい場合は「設定」→「ディスカッション」から変更することができます。



ディスカッション

☑ コメントを許可

☑ ピンバックとトラックバックを許可

コメントを許可

投稿記事にサイト閲覧者がコメントを残せるかどうかの設定です。
スパムコメント対策で、手動承認やメール通知設定を行う場合は「設定」→「ディスカッション」から設定しましょう。

ピンバックとトラックバックを許可

投稿の参照元の記事にリンクを貼り、リンク先の管理者にリンクを設定した通知が届くという仕組みです。
ただ、現在では使用者が多くなく、スパムに利用される可能性もあるので、基本的にチェックは外しておいて問題ありません。

次からは、Gutenbergの各ブロックの詳細と使い方について具体的に見ていきましょう。

各ブロックの詳細と使い方

Gutenbergには、色々なブロックのフォーマットが用意されています。
これらを組み合わせることで、HTMLやCSSといった知識がない人でも、簡単にリッチな記事を書くことができます。

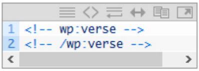
Gutenbergの全ブロック一覧表

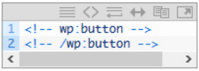
Gutenbergで用意されているブロックの一覧表です。
使用頻度の高いブロックの使い方の詳細を知りたい方は、こちらをクリックしてください。

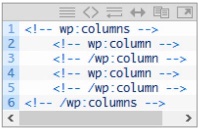
ブロックコードはコードエディターで記述する際に、ブロック箇所を示すために該当部分の前後に記述するコードになります。
（わからない方はスルーで問題ありません。）

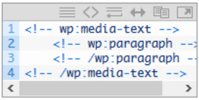
ブロックの種類	アイコン	名前	説明	対応HTMLタグ	ブロックコード
インライン要素	インライン画像	インライン画像	選択中のブロック内にインライン要素として画像を挿入します	<img>タグ	`<!-- wp:（親要素のブロックコ` `<!-- /wp:（親要素のブロック`
一般ブロック	¶ 段落	段落	テキストを書くのに使用します	<p>タグ	`<!-- wp:paragraph -->` `<!-- /wp:paragraph -->`
	画像	画像	画像を挿入します	<img>タグ	`<!-- wp:image -->` `<!-- /wp:image -->`
	T 見出し	見出し	見出しタグを挿入します	<h>タグ	`<!-- wp:heading -->` `<!-- /wp:heading -->`
	ギャラリー	ギャラリー	複数の画像でギャラリーを作成します	＋ <figure>＋ <img>	`<!-- wp:gallery -->` `<!-- /wp:gallery -->`
	リスト	リスト	箇条書きのリストを作成する	タグ、 タグ	`<!-- wp:list -->` `<!-- /wp:list -->`

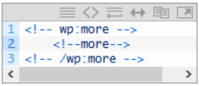
	引用	引用	引用部分を示すのに使用します	<blockquote>タグ	`<!-- wp:quote -->` `<!-- /wp:quote -->`
	音声	音声	音声コンテンツを埋め込む際に使用します	<figure>＋<audio>	`<!-- wp:audio -->` `<!-- /wp:audio -->`
	カバー	カバー	カバー画像を設定する際に使用します	<div>＋<p>	`<!-- wp:cover -->` `<!-- /wp:cover -->`
	ファイル	ファイル	ダウンロード用のファイルを配置する際に使用します	<div>＋<a>	`<!-- wp:file -->` `<!-- /wp:file -->`
	動画	動画	動画コンテンツを配置する際に使用します	<figure>＋<video>	`<!-- wp:video -->` `<!-- /wp:video -->`
フォーマットブロック	コード	コード	コードを埋め込む際に使用します	<pre>＋<code>	`<!-- wp:code -->` `<!-- /wp:code -->`
	クラシック	クラシック	TinyMCEエディター（旧エディタ）で編集できるブロックを作成します	自由	なし（直書きするとクラシックとして扱われる）
	カスタムHTML	カスタムHTML	HTMLを直接記述する際に使用します	自由	`<!-- wp:html -->` `<!-- /wp:html -->`
	整形済みテキスト	整形済みテキスト	特殊文字などをそのまま表示したい際に使用します	<pre>タグ	`<!-- wp:preformatted -->` `<!-- /wp:preformatted --`
	プルクオート	プルクオート	スタイルが適用された引用文を作成できます	<figure>＋<blockquote>＋<p>＋<cite>	`<!-- wp:pullquote -->` `<!-- /wp:pullquote -->`
	テーブル	テーブル	表形式のコンテンツを作成します	<table>タグ関連	`<!-- wp:table -->` `<!-- /wp:table -->`

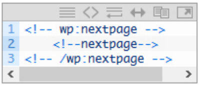
	詩	詩	詩的なコンテンツを作成します。（背景色がつきます）	<pre>	
					`<!-- wp:verse -->`
					`<!-- /wp:verse -->`

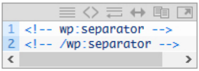
レイアウト要素	ボタン	ボタン	ボタンを作成します	<div>＋<a>	
					`<!-- wp:button -->`
					`<!-- /wp:button -->`

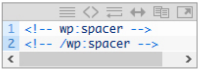
	カラム	カラム	複数カラムのコンテンツを作成します	<div>	
					`<!-- wp:columns -->`
					`    <!-- wp:column -->`
					`    <!-- /wp:column -->`
					`    <!-- wp:column -->`
					`    <!-- /wp:column -->`
					`<!-- /wp:columns -->`

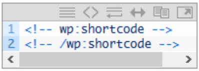
	メディアと文章	メディアと文章	メディアと文章を2カラムで表示します	<div><><><>	
					`<!-- wp:media-text -->`
					`    <!-- wp:paragraph --`
					`    <!-- /wp:paragraph -`
					`<!-- /wp:media-text -->`

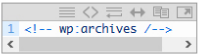
	続きを読む	続きを読む	トップページで抜粋表示する際の位置を指定します	なし	
					`<!-- wp:more -->`
					`    <!--more-->`
					`<!-- /wp:more -->`

	ページ区切り	ページ区切り	次のページに移動する位置を指定します	なし	
					`<!-- wp:nextpage -->`
					`    <!--nextpage-->`
					`<!-- /wp:nextpage -->`

	区切り	区切り	記事の区切りを挿入します	<hr>タグ	
					`<!-- wp:separator -->`
					`<!-- /wp:separator -->`

	スペーサー	スペーサー	ブロックの間の余白を挿入します	<div>タグ	
					`<!-- wp:spacer -->`
					`<!-- /wp:spacer -->`

	ショートコード	ショートコード	ショートコードを挿入します	なし	
					`<!-- wp:shortcode -->`
					`<!-- /wp:shortcode -->`

	アーカイブ	アーカイブ	アーカイブウィジェットを挿入します	なし	 `<!-- wp:archives /-->`

ウィジェット	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリーウィジェットを挿入します	なし	`<!-- wp:categories /-->`
	最新のコメント	最新のコメント	最新のコメントを表示します	なし	`<!-- wp:latest-comments`
	最新の記事	最新の記事	最新の記事を表示します	なし	`<!-- wp:latest-posts /--`
埋め込み（数が多いので一部抜粋）	埋め込み	埋め込み	URLを指定して画像・動画などのコンテンツを埋め込みます	<figure>＋<div>	埋め込んだコンテンツの種類によって自動生成
	Facebook	Facebook	Facebookの投稿を埋め込みます	<figure>＋<div>	`<!-- wp:core-embed/faceb` `<!-- /wp:core-embed/face`
	Twitter	Twitter	Twitterの投稿を埋め込みます	<figure>＋<div>	`<!-- wp:core-embed/twitte` `<!-- /wp:core-embed/twit`
	Instagram	Instagram	Instagramの投稿を埋め込みます	<figure>＋<div>	`<!-- wp:core-embed/insta` `<!-- /wp:core-embed/inst`
	YouTube	Youtube	YouTubeの動画を埋め込みます	<figure>＋<div>	`<!-- wp:core-embed/youtu` `<!-- /wp:core-embed/yout`
	WordPress	WordPress	WordPressの記事のブログカードを生成します	<figure>＋<div>	`<!-- wp:core-embed/wordp` `<!-- /wp:core-embed/word`

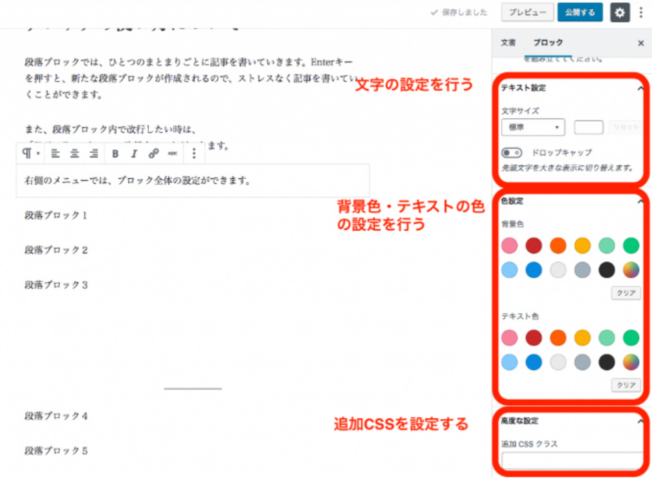
使用頻度の高いブロックの機能と使い方

ここからは特に使用頻度の高いブロックの使い方について簡単に解説していきます。

段落ブロック（pタグ）

段落ブロックは通常のテキストを作成するブロックです。

右側のメニューでは、ブロック全体の設定を行うことができます。



段落ブロックでは、ひとつのまとまりごとに記事を書いていきます。Enterキーを押すと、新たな段落ブロックが作成されるので、ストレスなく記事を書いていくことができます。

また、段落ブロック内で改行したい時は、

ます。

右側のメニューでは、ブロック全体の設定ができます。

段落ブロック１

段落ブロック２

段落ブロック３

段落ブロック４

段落ブロック５

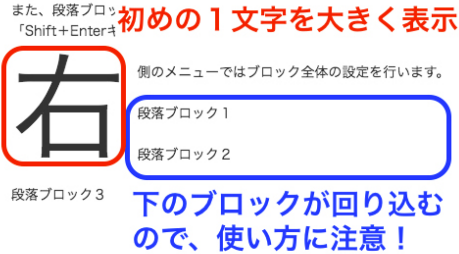
文字の設定を行う

背景色・テキストの色の設定を行う

追加CSSを設定する

✓ 保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
テキスト設定
文字サイズ
標準
リセット
ドロップキャップ
先頭文字を大きな表示に切り替えます。
色設定
背景色
クリア
テキスト色
クリア
高度な設定
追加 CSS クラス

文字サイズの設定では、「小」「標準」「中」「大」「特大」から感覚から選択することもできますし、右側のボックスにポイントを指定することも可能です。
ドロップギャップをオンにすると、下図のようにブロック先頭の文字を大きく表示することができます。（他のブロックの表示に影響することもあるので、プレビューを確認しましょう）



また、段落ブロッ

「Shift＋Enterキ

右側のメニューではブロック全体の設定を行います。

段落ブロック１

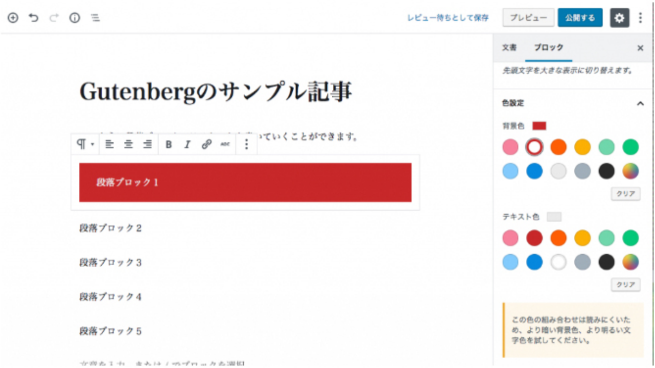
段落ブロック２

段落ブロック３

初めの１文字を大きく表示

下のブロックが回り込むので、使い方に注意！

色設定の項目では、ブロック全体の背景色やテキストの色を変更できます。また、配色がサイト上で見辛い場合には、アドバイスもしてくれます。


レビュー待ちとして保存
プレビュー
公開する
文書
ブロック
色設定
背景色
クリア
テキスト色
クリア

先頭文字を大きな表示に切り替えます。

この色の組み合わせは読みにくいため、より暗い背景色、より明るい文字色を試してください。

Gutenbergのサンプル記事

っていくことができます。

段落ブロック1

段落ブロック2

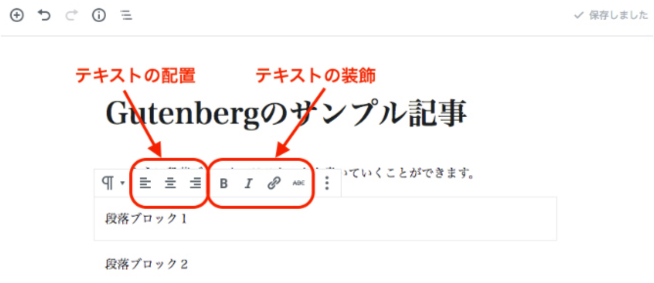
段落ブロック3

段落ブロック4

段落ブロック5

最後の高度な設定に関しては、ブロックに適用したい追加CSSを設定することが可能です。
（CSSが何かわからない人は特にきにする必要はありません）

ブロック上部のツールでは、テキストの配置や一部分のテキストを太字にしたりリンクを設定することができます。


保存しました
テキストの配置
テキストの装飾

Gutenbergのサンプル記事

っていくことができます。

段落ブロック1

段落ブロック2

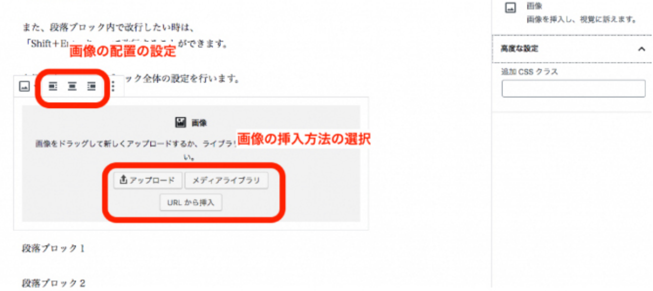
画像ブロック（imgタグ）

画像ブロックでは、従来のように画像を挿入することができます。

従来の「アップロード」「メディアライブラリ」以外にも、「URLから挿入」という方法が追加されており、任意の画像URLを入力することで画像を挿入することができます。
また、ブロック上部のメニューから画像の配置を「左寄せ」「中央」「右寄せ」と簡単に変更することができます。

保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック

を押すと、新たな段落ブロックが作成されるので、ストレスなく記事を書いていくことができます。


画像の配置の設定

画像の挿入方法の選択

また、段落ブロック内で改行したい時は、
「Shift＋E ができます。

ック全体の設定を行います。

画像をドラッグして新しくアップロードするか、ライブラ
い。

段落ブロック 1

段落ブロック 2

画像を挿入し、視覚に訴えます。

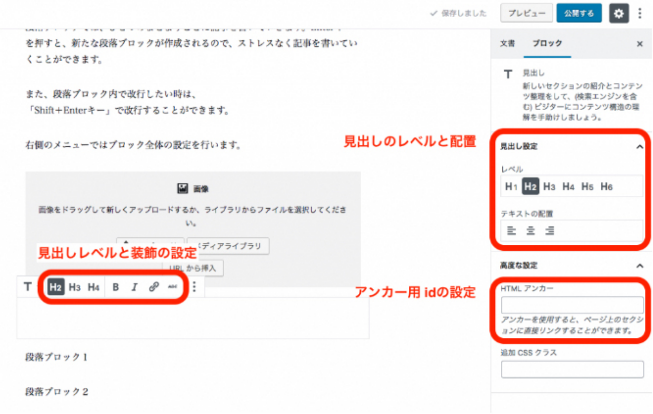
画像
アップロード
メディアライブラリ
URL から挿入
画像
高度な設定
追加 CSS クラス

見出しブロック（hタグ）

記事内の見出しを設定するブロックです。

見出しのレベル（h2〜h6）を右側メニュー及び上部のツールで簡単に選択できる他、HTMLアンカーを設定すると
<h2 id="howto">見出しブロックの使い方</h2>
のように、id属性を設定することができます。

記事内でアンカーリンクを設定するときに便利ですね。


見出しのレベルと配置

見出しレベルと装飾の設定

アンカー用 idの設定

を押すと、新たな段落ブロックが作成されるので、ストレスなく記事を書いていくことができます。

また、段落ブロック内で改行したい時は、
「Shift＋Enterキー」で改行することができます。

右側のメニューではブロック全体の設定を行います。

画像をドラッグして新しくアップロードするか、ライブラリからファイルを選択してください。

段落ブロック 1

段落ブロック 2

見出し
新しいセクションの紹介とコンテンツ整理をして、(検索エンジンを含む) ビジターにコンテンツ構造の理解を手助けしましょう。

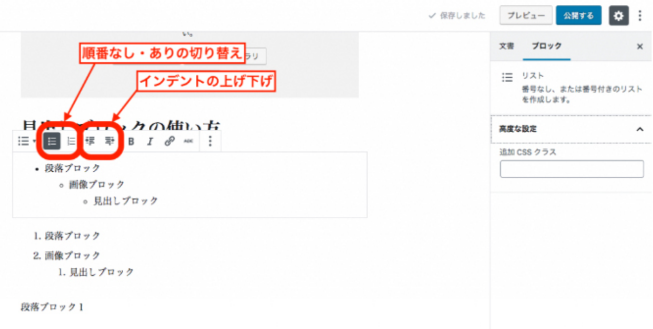
アンカーを使用すると、ページ上のセクションに直接リンクすることができます。

✓ 保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
見出し設定
レベル
H1 H2 H3 H4 H5 H6
テキストの配置
高度な設定
HTML アンカー
追加 CSS クラス
画像
ディアライブラリ
URL から挿入
T
H2 H3 H4
B
I

リストブロック（ul、olタグ）

箇条書き（順番なし・あり）を作成するブロックです。

上部のツールで順番なし、順番ありを切り替えられる他、インデントの上げ下げも簡単に行うことができます。


✓ 保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
高度な設定
B
I

順番なし・ありの切り替え

インデントの上げ下げ

- 段落ブロック
  - 画像ブロック
    - 見出しブロック

1. 段落ブロック
2. 画像ブロック
   1. 見出しブロック

段落ブロック 1

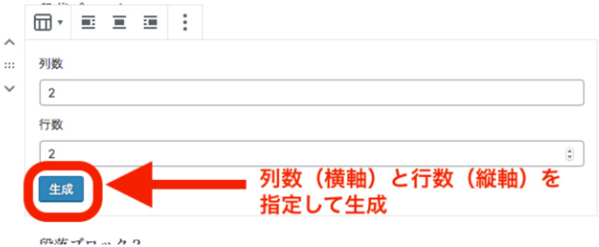
リスト
番号なし、または番号付きのリストを作成します。

追加 CSS クラス

テーブルブロック（tableタグ）

表形式のコンテンツを作成するブロックです。

htmlで記述すると少し面倒なtableタグも、Gutenbergならブロック作成時に列数と行数を指定するだけで、簡単に作成することができます。

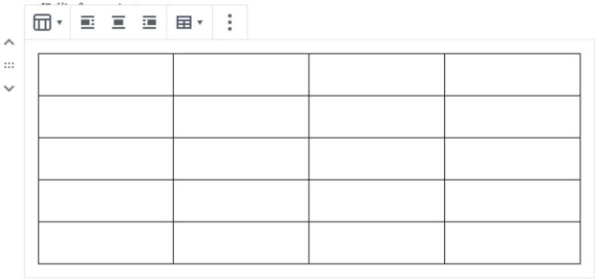


列数
2

行数
2

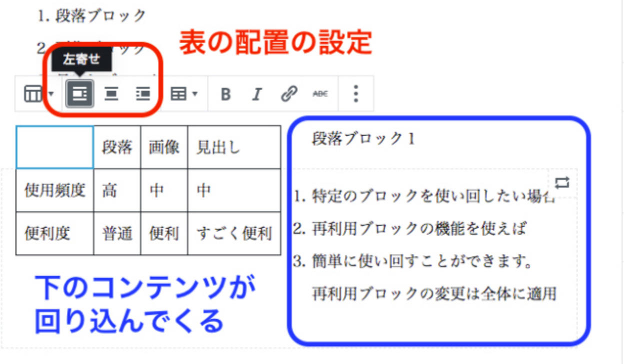
列数（横軸）と行数（縦軸）を指定して生成

好きな列数と行数を指定して、生成をクリックすると、



このように、簡単にテーブルコンテンツを作成出来るので、とても便利です。

また、機能も充実しており、上部のツールから表全体の左寄せ・中央寄せ・右寄せできます。（もう一度、クリックで解除）


左寄せ
表の配置の設定
下のコンテンツが回り込んでくる

1. 段落ブロック

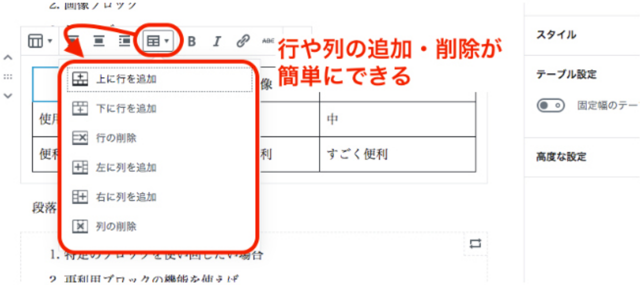
	段落	画像	見出し
使用頻度	高	中	中
便利度	普通	便利	すごく便利

段落ブロック１

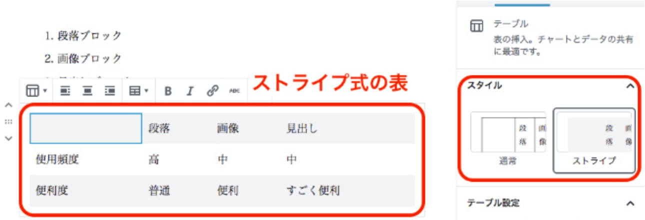
1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。

再利用ブロックの変更は全体に適用

また、行・列の追加もクリック操作だけで簡単に行えます。


上に行を追加
下に行を追加
行の削除
左に列を追加
右に列を追加
列の削除
行や列の追加・削除が簡単にできる
スタイル
テーブル設定
固定幅のテー
高度な設定

右側メニューでは、一般的な罫線式の表と背景色を用いたストライプ式の表を切り替えることができ、


ストライプ式の表
テーブル
スタイル
通常
ストライプ
テーブル設定

1. 段落ブロック
2. 画像ブロック

	段落	画像	見出し
使用頻度	高	中	中
便利度	普通	便利	すごく便利

表の挿入。チャートとデータの共有に最適です。

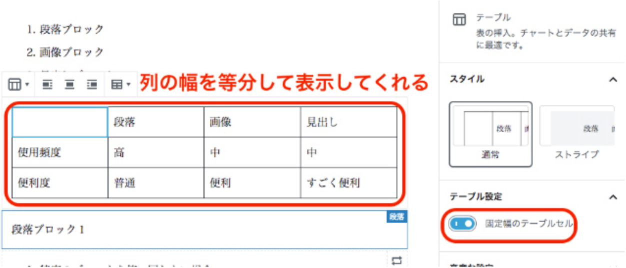
段落ブロック１

1. 特定のブロックを使い回したい場合

固定幅のテーブルセル

高度な設定

「固定幅のテーブルセル」をオンにすると、列の幅を均等に配分してくれます。



1. 段落ブロック
2. 画像ブロック

列の幅を等分して表示してくれる

	段落	画像	見出し
使用頻度	高	中	中
便利度	普通	便利	すごく便利

段落ブロック１

テーブル

表の挿入。チャートとデータの共有に最適です。

スタイル
通常
ストライプ
段落

テーブル設定

固定幅のテーブルセル

よく使うブロックの機能の説明については以上です。
これだけでも、今までの記事作成よりも数段便利になりそうですね。

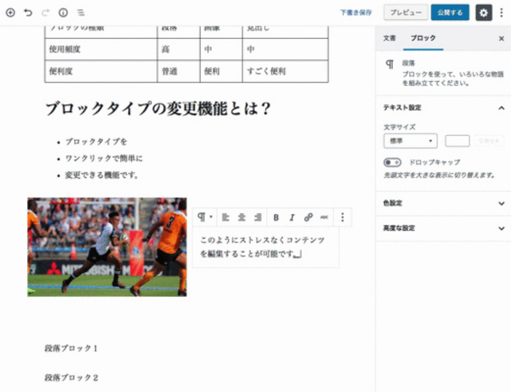
Gutenbergでは、上記以外にも便利なブロックが色々と用意してありますので、ぜひ自分でも色々と試してみてください。

ブロックタイプの変更について

記事を作成中にこんなことを思ったことはないでしょうか？

「普通の文章で書いていたけれど、箇条書きに変更したくなった」
「画像の横にテキストを追加したくなった」

今までだと、HTMLタグから変更する必要がありました。
しかし、Gutenbergでは互換性の高いブロックについては、「ブロックタイプ変更」機能で簡単に切り替えることが出来ます。


下書き保存
プレビュー
公開する
文書
ブロック
段落
テキスト設定
文字サイズ
標準
リセット
ドロップキャップ
色設定
高度な設定

使用頻度	高	中	中
便利度	普通	便利	すごく便利

ブロックタイプの変更機能とは？

- ブロックタイプを
- ワンクリックで簡単に
- 変更できる機能です。

このようにストレスなくコンテンツを編集することが可能です。

段落ブロック1

段落ブロック2

ブロックを使って、いろいろな物語を組み立ててください。

先頭文字を大きな表示に切り替えます。

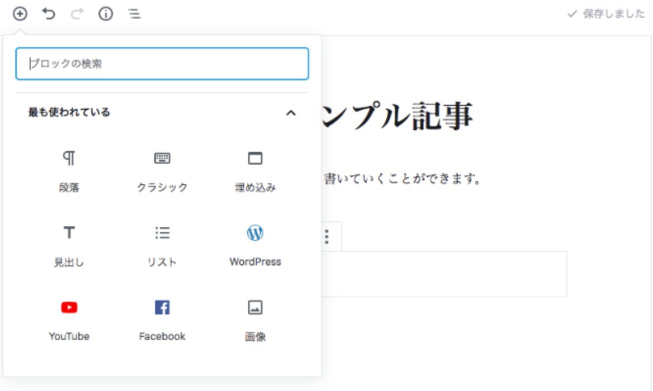
上の動画では、下記の３つの処理を行なっています。

1. 「段落ブロック」から「見出しブロック」へ
2. 「段落ブロック」から「リストブロック」へ
3. 「画像ブロック」から「メディアと文章ブロック」へ

どんなブロックタイプにも変更できるわけではなく、そのブロックと互換性のあるブロックタイプへの変更しか出来ませんが、それでもHTMLタグから書き直す必要がないことを考えると、非常に便利です。

使用履歴からブロックを作成

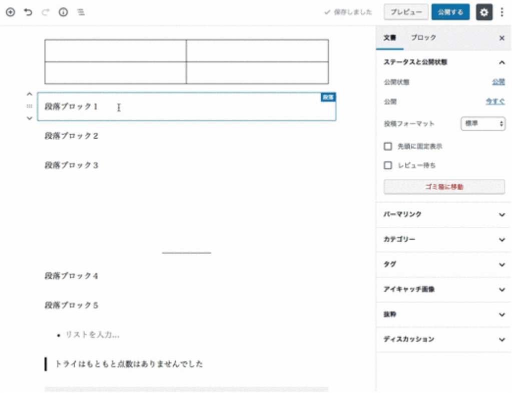
よく使うブロックを探すのは面倒ですよね。
Gutenbergでは、ブロックを作成する時のメニューの一番上に最も使用頻度の高いブロックが9つまで表示されます。


保存しました
ブロックの検索
最も使われている
段落
クラシック
埋め込み
見出し
リスト
WordPress
YouTube
Facebook
画像

ンプル記事

書いていくことができます。

Enterキーなどで新規に段落ブロックを作成したとき、右側に使用頻度の高いブロックタイプの上位3つまでが表示されるので、一々探す必要はありません。また、ブロックに「/」を入力することで、上位10個までのブロックタイプが表示することも出来ます。


保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
ステータスと公開状態
ゴミ箱に移動
パーマリンク
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋
ディスカッション
段落

段落ブロック 1

段落ブロック 2

段落ブロック 3

段落ブロック 4

段落ブロック 5

- リストを入力…

> トライはもともと点数はありませんでした

公開状態　公開

公開　今すぐ

投稿フォーマット　標準

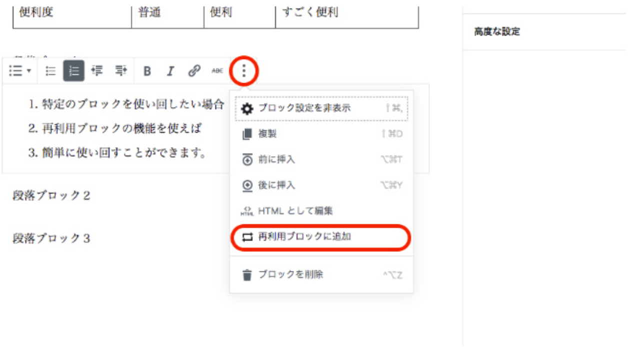
☐ 先頭に固定表示

☐ レビュー待ち

便利な再利用ブロックの使い方

表などのコンテンツを別の箇所や他のページでも使い回したい場合もありますよね。
そんな時は、使いまわしたいコンテンツを再利用ブロックとして登録すれば、簡単に使い回すことが出来ます。

再利用ブロックを登録するには、まず、登録したいブロックの上部ツールの三点メニューから「再利用ブロックに追加」を選択します。



便利度	普通	便利	すごく便利

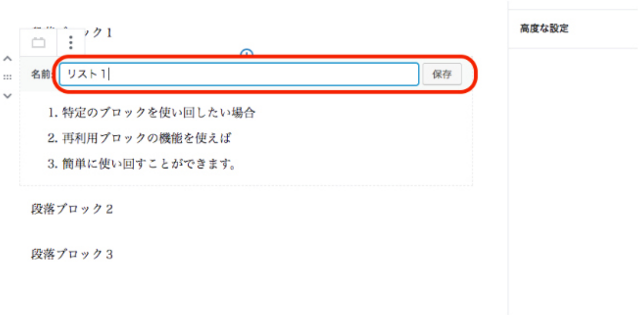
1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。

段落ブロック２

段落ブロック３

高度な設定
ブロック設定を非表示
複製
前に挿入
後に挿入
HTML として編集
再利用ブロックに追加
ブロックを削除

再利用ブロックの名称設定画面になります。



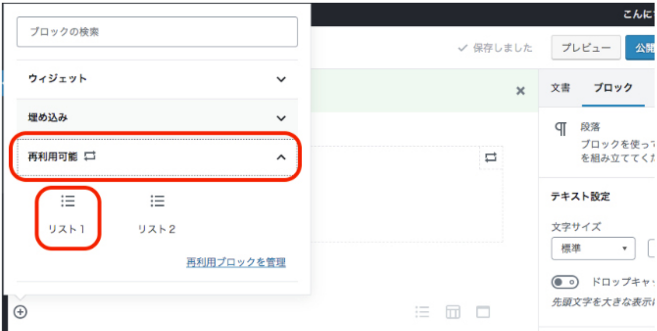
名前: リスト１

1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。

段落ブロック２

段落ブロック３

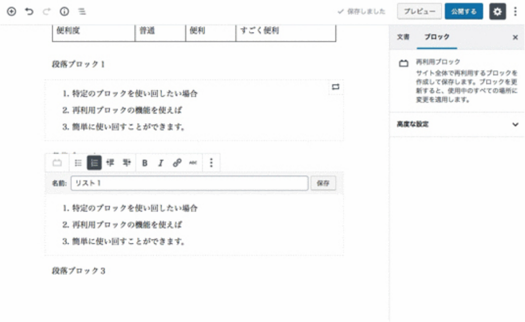
わかりやすい名前をつけて「保存」をクリックすれば登録完了です。
新規ブロック作成メニューの一番下に、「再利用可能」の項目が追加され、先ほど登録した再利用ブロックが見つかります。



ブロックの検索
ウィジェット
埋め込み
再利用可能
リスト１
リスト２
再利用ブロックを管理
こんに
保存しました
プレビュー
公開
文書
ブロック
段落
ブロックを使っ
を組み立ててく
テキスト設定
文字サイズ
標準
ドロップキャッ
先頭文字を大きな表示

段落ブロック３

ただし、再利用ブロックを編集すると、別の場所で使用している再利用ブロックにも変更が適用されることには注意してください。
次の動画のように、下のブロックだけを編集しても、上のブロックにも変更が反映されます。



✓ 保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
再利用ブロック
高度な設定
B
I
保存

便利度	普通	便利	すごく便利

段落ブロック１

1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。

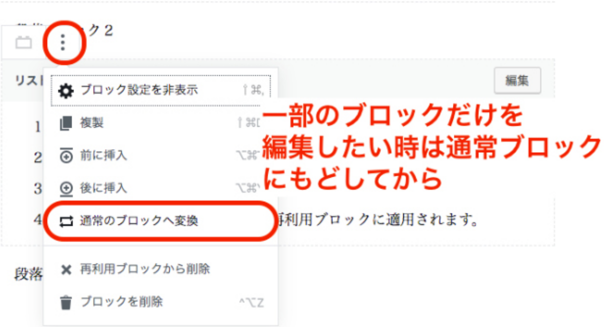
名前: リスト１

1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。

段落ブロック３

サイト全体で再利用するブロックを作成して保存します。ブロックを更新すると、使用中のすべての場所に変更を適用します。

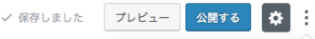
その箇所だけを変更したい場合は、上部のツールから「通常ブロックに変換」をしてから行いましょう。



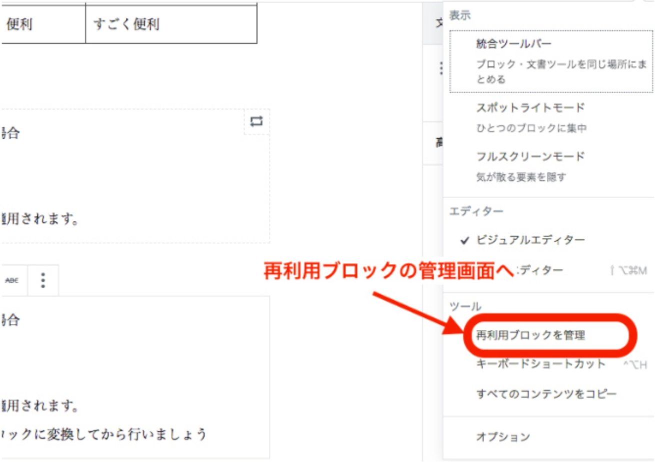
ク２
リス
編集
ブロック設定を非表示
⇧⌘,
複製
⇧⌘
前に挿入
⌥⌘
後に挿入
⌥⌘
通常のブロックへ変換
再利用ブロックから削除
ブロックを削除
^⌥Z
1
2
3
4
利用ブロックに適用されます。
段落

一部のブロックだけを
編集したい時は通常ブロック
にもどしてから

また、登録した再利用ブロックは、右上のメニューの中の「再利用ブロックを管理」の項目から管理画面に移動できます。

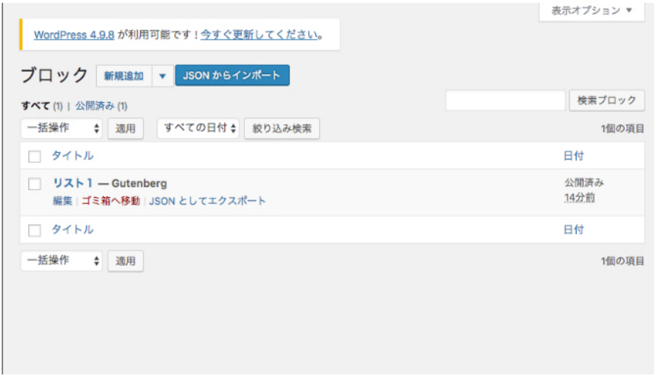


✓ 保存しました
プレビュー
公開する


便利
すごく便利
合
用されます。
合
用されます。
ックに変換してから行いましょう
表示
統合ツールバー
ブロック・文書ツールを同じ場所にまとめる
スポットライトモード
ひとつのブロックに集中
フルスクリーンモード
気が散る要素を隠す
エディター
✓ ビジュアルエディター
ディター
ツール
再利用ブロックを管理
キーボードショートカット
すべてのコンテンツをコピー
オプション

再利用ブロックの管理画面へ

管理画面では、再利用ブロックの削除やJSON形式でのインポート・エクスポートを行うことが出来ます。

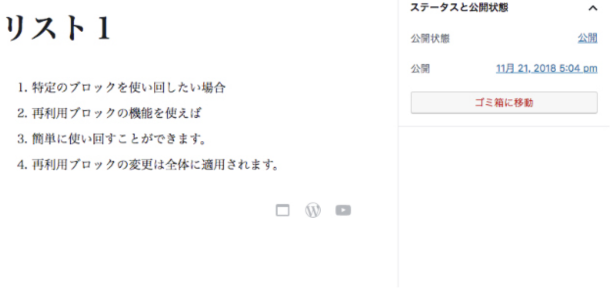

WordPress 4.9.8 が利用可能です！今すぐ更新してください。

☐	タイトル	日付
☐	リスト 1 — Gutenberg 編集 | ゴミ箱へ移動 | JSON としてエクスポート	公開済み 14分前
☐	タイトル	日付

表示オプション ▼
ブロック
新規追加
JSON からインポート
すべて (1) | 公開済み (1)
検索ブロック
一括操作
適用
すべての日付
絞り込み検索
1個の項目
一括操作
適用
1個の項目

ブロックの編集画面では、記事作成と同じ感覚で再利用ブロックを編集することができます。
こちらで変更した内容は、記事内ですでに使用している再利用ブロックにも影響するので注意しましょう。

下書きへ切り替え
更新
文書
ブロック
×



リスト1

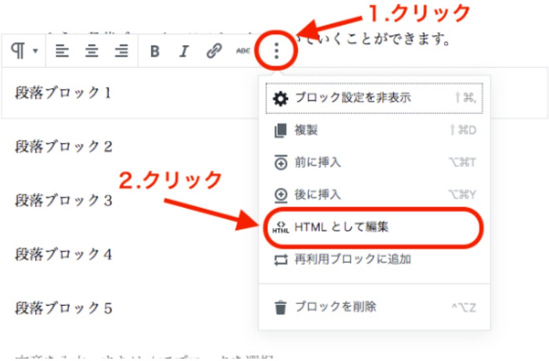
1. 特定のブロックを使い回したい場合
2. 再利用ブロックの機能を使えば
3. 簡単に使い回すことができます。
4. 再利用ブロックの変更は全体に適用されます。

ステータスと公開状態
公開状態
公開
公開
11月 21, 2018 5:04 pm
ゴミ箱に移動

ブロックをHTMLとして編集

一部のブロックだけをHTMLとして編集したい場合、わざわざコードエディターに切り替える必要はありません。
上部のツールから「HTMLとして編集」を選択すると、そのブロックだけをHTMLで編集することが出来ます。

こちらから「HTMLとして編集」をクリック。



1.クリック

2.クリック

段落ブロック1

段落ブロック2

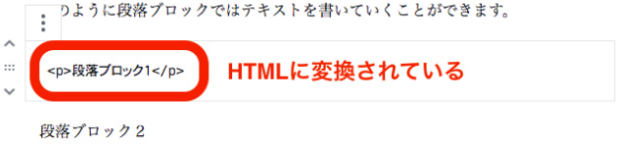
段落ブロック3

段落ブロック4

段落ブロック5

ブロック設定を非表示 ⇧⌘,
複製 ⇧⌘D
前に挿入 ⌥⌘T
後に挿入 ⌥⌘Y
HTML として編集
再利用ブロックに追加
ブロックを削除 ^⌥Z

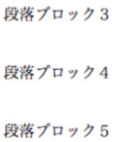
このように、ブロック内の要素がHTMLで編集できるようになります。



```
<p>段落ブロック1</p>
```

HTMLに変換されている

段落ブロック2

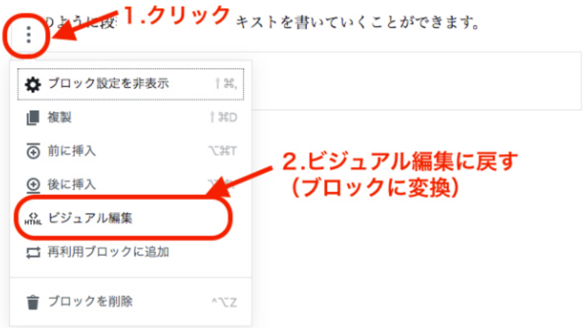


段落ブロック3

段落ブロック4

段落ブロック5

ビジュアル編集に戻す時は、再度、上部ツールから「ビジュアル編集」をクリックします。



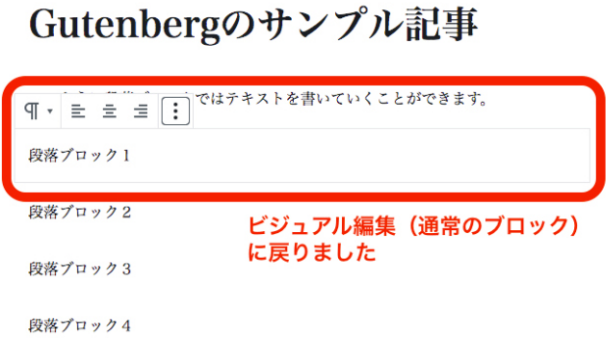
のように段　キストを書いていくことができます。

1.クリック

2.ビジュアル編集に戻す（ブロックに変換）

ブロック設定を非表示 ⇧⌘,
複製 ⇧⌘D
前に挿入 ⌥⌘T
後に挿入
ビジュアル編集
再利用ブロックに追加
ブロックを削除 ^⌥Z

これで、元どおり普通のブロックに戻りました。



Gutenbergのサンプル記事

ではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック1

段落ブロック2

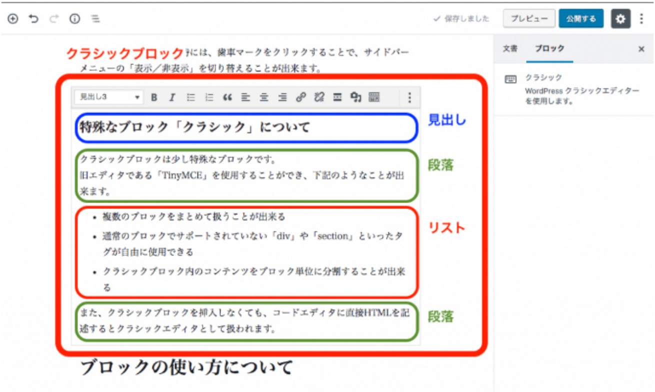
段落ブロック3

段落ブロック4

ビジュアル編集（通常のブロック）に戻りました

特殊なブロック「クラシック」について

クラシックブロックは少し特殊なブロックです。
旧エディタである「TinyMCE」を使用することができ、複数のブロックをまとめて扱うことが出来ます。


保存しました
プレビュー
公開する
文書
ブロック
クラシック
WordPress クラシックエディターを使用します。
見出し3
見出し
段落
リスト
段落

クラシックブロック ?には、歯車マークをクリックすることで、サイドバーメニューの「表示／非表示」を切り替えることが出来ます。

特殊なブロック「クラシック」について

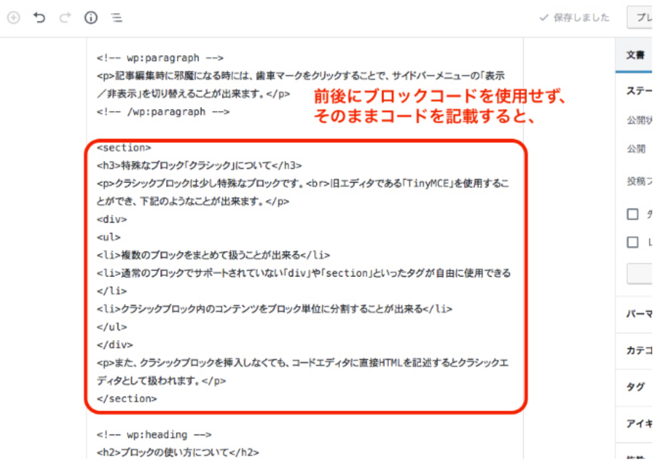
クラシックブロックは少し特殊なブロックです。
旧エディタである「TinyMCE」を使用することができ、下記のようなことが出来ます。

- 複数のブロックをまとめて扱うことが出来る
- 通常のブロックでサポートされていない「div」や「section」といったタグが自由に使用できる
- クラシックブロック内のコンテンツをブロック単位に分割することが出来る

また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエディタに直接HTMLを記述するとクラシックエディタとして扱われます。

ブロックの使い方について

また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエディタに直接HTMLを記述して、ビジュアルエディタに戻すと、クラシックブロックとして扱われます。

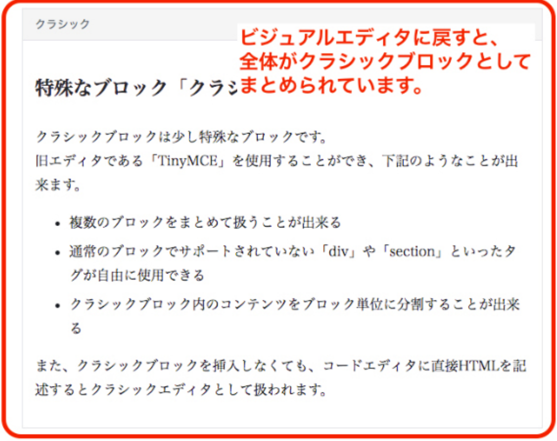

保存しました
プレ
文書
ステー
公開状
公開
投稿フ
パーマ
カテゴ
タグ
アイキ

```
<!-- wp:paragraph -->
<p>記事編集時に邪魔になる時には、歯車マークをクリックすることで、サイドバーメニューの「表示
／非表示」を切り替えることが出来ます。</p>
<!-- /wp:paragraph -->

<section>
<h3>特殊なブロック「クラシック」について</h3>
<p>クラシックブロックは少し特殊なブロックです。<br>旧エディタである「TinyMCE」を使用するこ
とができ、下記のようなことが出来ます。</p>
<div>
<ul>
<li>複数のブロックをまとめて扱うことが出来る</li>
<li>通常のブロックでサポートされていない「div」や「section」といったタグが自由に使用できる
</li>
<li>クラシックブロック内のコンテンツをブロック単位に分割することが出来る</li>
</ul>
</div>
<p>また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエディタに直接HTMLを記述するとクラシックエ
ディタとして扱われます。</p>
</section>

<!-- wp:heading -->
<h2>ブロックの使い方について</h2>
```

前後にブロックコードを使用せず、
そのままコードを記載すると、



ビジュアルエディタに戻すと、全体がクラシックブロックとしてまとめられています。

特殊なブロック「クラシ

クラシックブロックは少し特殊なブロックです。
旧エディタである「TinyMCE」を使用することができ、下記のようなことが出来ます。

- 複数のブロックをまとめて扱うことが出来る
- 通常のブロックでサポートされていない「div」や「section」といったタグが自由に使用できる
- クラシックブロック内のコンテンツをブロック単位に分割することが出来る

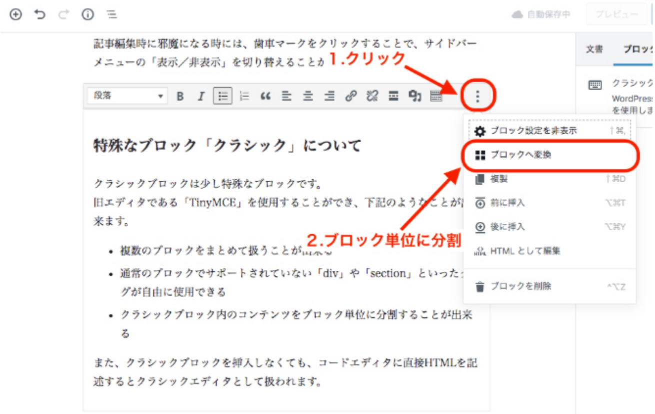
また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエディタに直接HTMLを記述するとクラシックエディタとして扱われます。

この時、divやsectionといった、通常のブロックではサポートされていないHTMLタグも使用することができます。

クラシックブロックを通常のブロック単位に分割

また、クラシックブロックに含まれる要素を、通常のブロック単位に分割することもできます。

やり方は簡単で、クラシックブロックのツールバーの三点メニューをクリックし、ブロックへ変換を選択するだけ。



自動保存中
プレビュー
文書
ブロック
クラシック
WordPress
を使用しま
段落
ブロック設定を非表示 ⇧⌘,
ブロックへ変換
複製 ⇧⌘D
前に挿入 ⌥⌘T
後に挿入 ⌥⌘Y
HTML として編集
ブロックを削除 ^⌥Z

記事編集時に邪魔になる時には、歯車マークをクリックすることで、サイドバーメニューの「表示／非表示」を切り替えることか

1.クリック

2.ブロック単位に分割

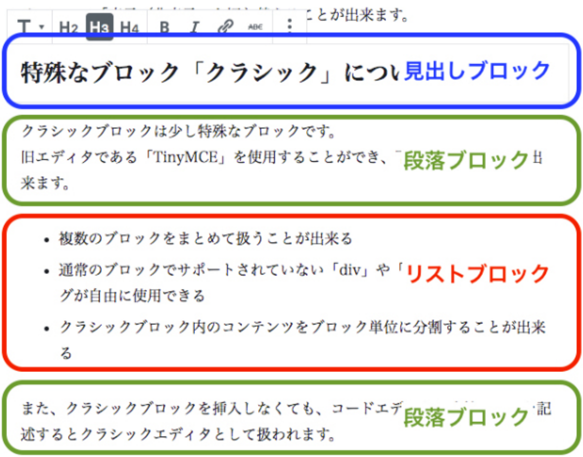
特殊なブロック「クラシック」について

クラシックブロックは少し特殊なブロックです。
旧エディタである「TinyMCE」を使用することができ、下記のようなことが
来ます。

- 複数のブロックをまとめて扱うことが
- 通常のブロックでサポートされていない「div」や「section」といった
グが自由に使用できる
- クラシックブロック内のコンテンツをブロック単位に分割することが出来る

また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエディタに直接HTMLを記述するとクラシックエディタとして扱われます。

すると、このようにそれぞれの要素がブロック単位に分割されます。


T
H2
H3
H4
B
I
ABC
見出しブロック
段落ブロック
リストブロック
段落ブロック

ことが出来ます。

特殊なブロック「クラシック」につい

クラシックブロックは少し特殊なブロックです。
旧エディタである「TinyMCE」を使用することができ、
来ます。

- 複数のブロックをまとめて扱うことが出来る
- 通常のブロックでサポートされていない「div」や「
グが自由に使用できる
- クラシックブロック内のコンテンツをブロック単位に分割することが出来る

また、クラシックブロックを挿入しなくても、コードエデ
述するとクラシックエディタとして扱われます。

ちなみに、既存のサイトでGutenbergを有効化した場合、旧エディターで作成した記事は全てこのクラシックブロックにまとめられています。
クラシックブロックのままであれば、問題ありませんがを通常のブロック単位に変更する際には、divやsectionなどのタグが中身ごと消えてしまうなど、若干の影響が出る場合があります。
ブロック変換時の影響範囲について、詳しくは下記の記事を参考にしてください。

投稿が消える!?「Gutenberg」の影響を実際に検証して調査してみた

WordPress5.0が発表されました。 バージョンアップの準備はされましたか？ デフォルトエディタが「Gutenberg」に変更されることで、不安な方もいらっしゃるのではないでしょうか。 WordPressの公式から ... 続きを読む

wp.geek

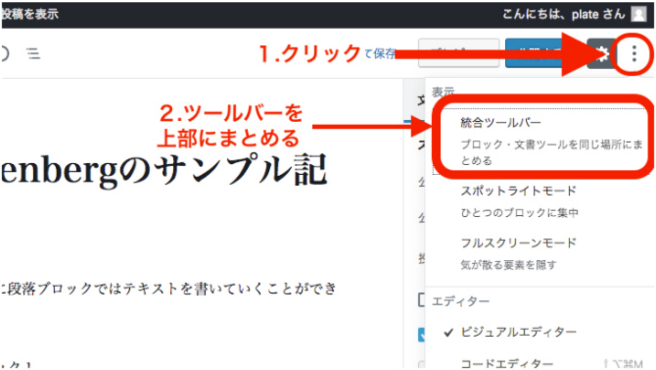
その他の機能について

メニューの配置と表示/非表示の切り替え

Gutenbergの編集画面では、各種メニューやブロックのツールバーの配置や表示/非表示を簡単に切り替えることができます。

統合ツールバー

統合ツールバーを使用すると、ブロック上部のツールを左上の文書ツールと同じ位置に表示させることができます。

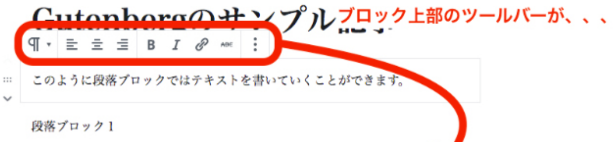


1.クリック

2.ツールバーを上部にまとめる

投稿を表示
こんにちは、plate さん
表示
統合ツールバー
ブロック・文書ツールを同じ場所にまとめる
スポットライトモード
ひとつのブロックに集中
フルスクリーンモード
気が散る要素を隠す
エディター
✓ ビジュアルエディター
コードエディター ⇧⌥⌘M

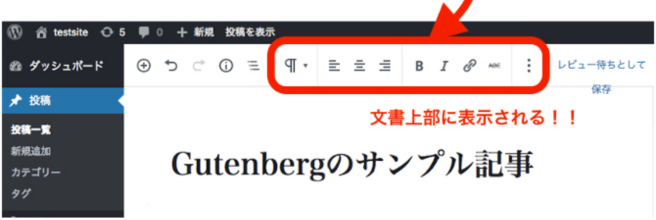
有効にすると、ブロック周りにツールバーが表示されなくなるのでスッキリします。



ブロック上部のツールバーが、、、

このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック1

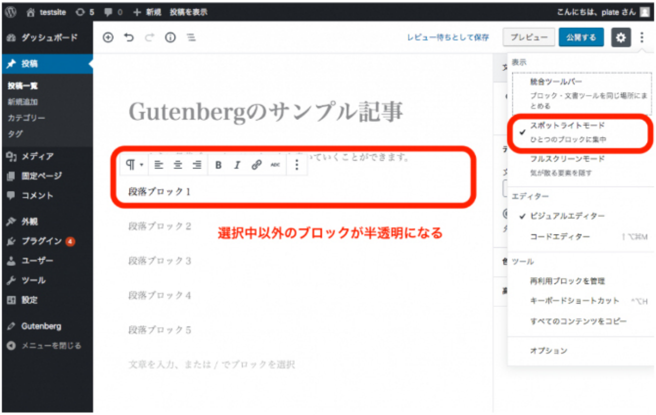

testsite
5
0
新規
投稿を表示
ダッシュボード
投稿
投稿一覧
新規追加
カテゴリー
タグ
レビュー待ちとして
保存
Gutenbergのサンプル記事

文書上部に表示される！！

ただ、人によっては、ブロックの近くにツールがあった方がいい人もいると思うので、使用はお好みで。

スポットライトモード

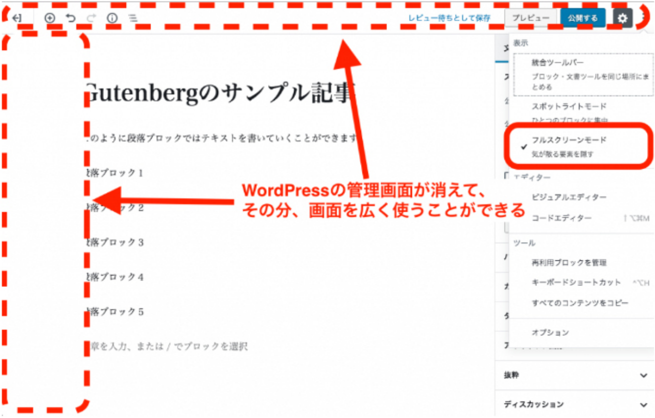
スポットライトモードを使用すると、選択中のブロック以外の色が薄くなり、そのブロックに集中することができます。


testsite
5
0
新規
投稿を表示
こんにちは、plate さん
ダッシュボード
投稿
投稿一覧
新規追加
カテゴリー
タグ
メディア
固定ページ
コメント
外観
プラグイン 4
ユーザー
ツール
設定
Gutenberg
メニューを閉じる
レビュー待ちとして保存
プレビュー
公開する
Gutenbergのサンプル記事
段落ブロック 1
段落ブロック 2
段落ブロック 3
段落ブロック 4
段落ブロック 5
文章を入力、または / でブロックを選択
表示
統合ツールバー
ブロック・文書ツールを同じ場所にまとめる
✓ スポットライトモード
ひとつのブロックに集中
フルスクリーンモード
気が散る要素を隠す
エディター
✓ ビジュアルエディター
コードエディター
ツール
再利用ブロックを管理
キーボードショートカット
すべてのコンテンツをコピー
オプション

選択中以外のブロックが半透明になる

フルスクリーンモード

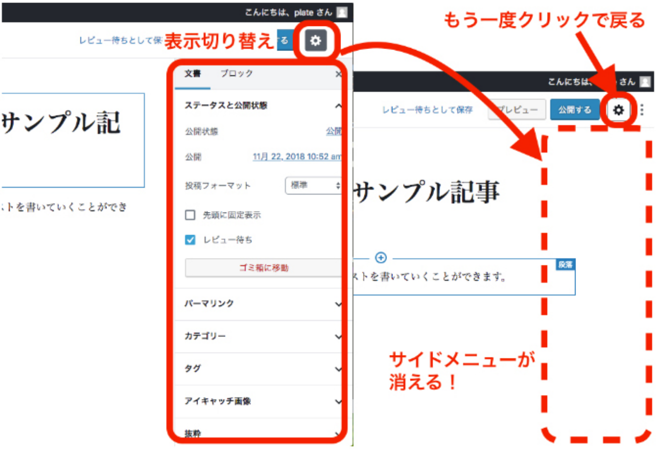
フルスクリーンモードでは、WordPressの管理画面メニューの表示/非表示を切り替えることが出来ます。


WordPressの管理画面が消えて、
その分、画面を広く使うことができる

レビュー待ちとして保存
プレビュー
公開する
Gutenbergのサンプル記事
このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます
段落ブロック１
段落ブロック２
段落ブロック３
段落ブロック４
段落ブロック５
文章を入力、または / でブロックを選択
表示
統合ツールバー
ブロック・文書ツールを同じ場所にまとめる
スポットライトモード
ひとつのブロックに集中
フルスクリーンモード
気が散る要素を隠す
エディター
ビジュアルエディター
コードエディター
ツール
再利用ブロックを管理
キーボードショートカット
すべてのコンテンツをコピー
オプション
抜粋
ディスカッション

サイドメニューの表示切り替え

サイドメニューも表示/非表示を簡単に切り替えることが出来ます。
右上の歯車マークをクリックしてみましょう。


表示切り替え

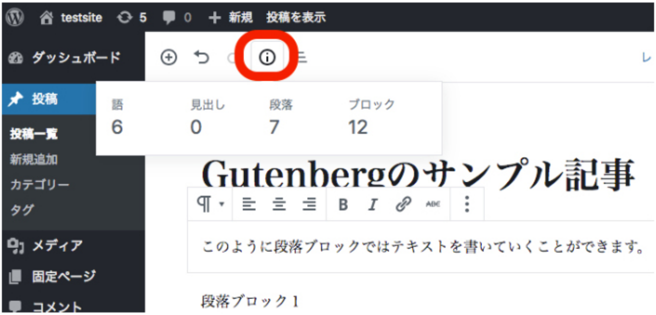
もう一度クリックで戻る

サイドメニューが
消える！

こんにちは、plate さん
レビュー待ちとして保存
文書
ブロック
ステータスと公開状態
公開状態
公開
11月 22, 2018 10:52 am
投稿フォーマット
標準
先頭に固定表示
レビュー待ち
ゴミ箱に移動
パーマリンク
カテゴリー
タグ
アイキャッチ画像
抜粋
プレビュー
公開する
サンプル記事
ストを書いていくことができます。
段落

コンテンツ構造の確認

左上メニューの◯の中にiがあるマークをクリックすると、見出しや段落のブロック数、見出し構成などを確認することが出来ます。


testsite
5
0
新規
投稿を表示
ダッシュボード
投稿
投稿一覧
新規追加
カテゴリー
タグ
メディア
固定ページ
コメント

語	見出し	段落	ブロック
6	0	7	12

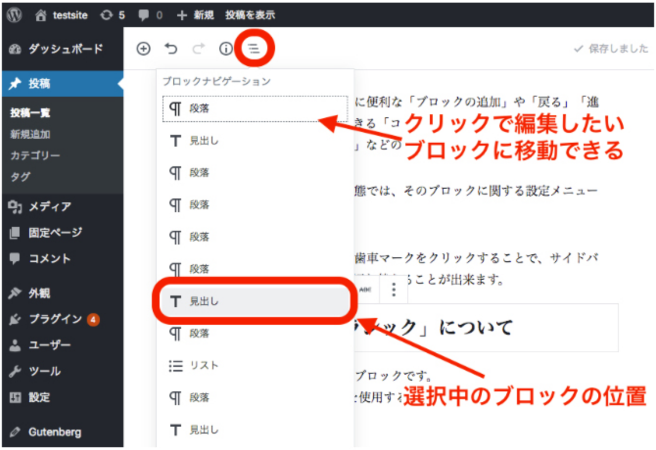
Gutenbergのサンプル記事

このように段落ブロックではテキストを書いていくことができます。

段落ブロック 1

ブロックナビゲーション

左上メニューの右端のブロックナビゲーション機能では、ブロック単位のリストが表示され、クリックで選択すると、そのブロックに移動することが出来ます。

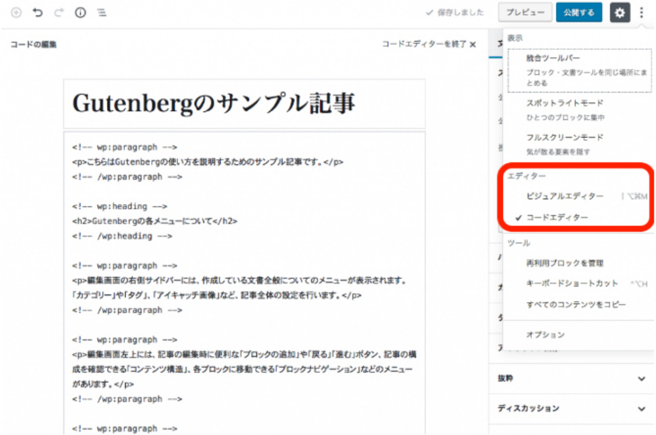

testsite
5
0
新規
投稿を表示
ダッシュボード
保存しました
投稿
投稿一覧
新規追加
カテゴリー
タグ
メディア
固定ページ
コメント
外観
プラグイン 4
ユーザー
ツール
設定
Gutenberg
ブロックナビゲーション
段落
見出し
段落
段落
段落
段落
見出し
段落
リスト
段落
見出し

クリックで編集したいブロックに移動できる

選択中のブロックの位置

旧エディターの「テキストエディタ」はコードエディターに名称変更

すでに、ブロックの機能解説の中で何度か出ていますが、旧エディターの「テキストエディタ」はGutenbergでは「コードエディター」に名前が変わっています。
機能としては変わらず、そのままHTMLを記述していくことができます。


保存しました
プレビュー
公開する
コードの編集
コードエディターを終了 ✕
表示
統合ツールバー
ブロック・文書ツールを同じ場所にまとめる
スポットライトモード
ひとつのブロックに集中
フルスクリーンモード
気が散る要素を隠す
エディター
ビジュアルエディター ⌥⌘M
✓ コードエディター
ツール
再利用ブロックを管理
キーボードショートカット ^⌥H
すべてのコンテンツをコピー
オプション
抜粋
ディスカッション

Gutenbergのサンプル記事

```
<!-- wp:paragraph -->
<p>こちらはGutenbergの使い方を説明するためのサンプル記事です。</p>
<!-- /wp:paragraph -->

<!-- wp:heading -->
<h2>Gutenbergの各メニューについて</h2>
<!-- /wp:heading -->

<!-- wp:paragraph -->
<p>編集画面の右側サイドバーには、作成している文書全般についてのメニューが表示されます。
「カテゴリー」や「タグ」、「アイキャッチ画像」など、記事全体の設定を行います。</p>
<!-- /wp:paragraph -->

<!-- wp:paragraph -->
<p>編集画面左上には、記事の編集時に便利な「ブロックの追加」や「戻る」「進む」ボタン、記事の構
成を確認できる「コンテンツ構造」、各ブロックに移動できる「ブロックナビゲーション」などのメニュー
があります。</p>
<!-- /wp:paragraph -->

<!-- wp:paragraph -->
```

<!– wp:paragraph –><!– /wp:paragraph –>のようなブロックコードを使用せずに記述した場合は、基本的に全てクラシックブロックとして扱われます。

Block APIでオリジナルのブロックが作れる

Gutenbergでは、「Block API」を使用して、独自のカスタムブロックを作成することが可能です。こちらは、少し専門性が高くなるため、また別の記事で詳しく解説します。